

一般質問

公立保育園について



関根 守男
(はすだ政和会)



問 待機児童の現状は。

答 令和8年6月時点の待機児童数は3人です。

問 障がいがある児童の受け入れの現状は。また、希望する園に入園できるか。

答 令和8年4月1日現在、公立保育園に在園しながら療育を受けている児童は24人となっていて、入園先については、各園の利用定員の状況等を総合的に判断した上で決定しています。

問 アレルギーがある児童への対応は。

答 食物アレルギー事故の未然防止の取組として、医療機関で医師に記入して

今定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に掲載します。

スマートフォンなどで二次元コードを読み取ると、各議員の一般質問を行っている録画映像（過去のものを含めて）を視聴することができます。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ議長に対して質問事項を通告し、執行部は、質問に対して基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

いただいた生活管理指導票を基に個々の状況を把握し、園児への対応を行っています。アレルギー症状が発生した場合には、「保育園給食食物アレルギー児童対応マニュアル」等に基づき、適切に対応しています。

問 主食も提供する完全給食の検討状況は。また、対応可能な園から実施してはどうか。

答 現在、完全給食の導入の検討を進めていて、各園の設備や運営方法、人員体制などの状況を精査している段階です。令和9年度から段階的導入に向けた計画を取りまとめているところです。

問 黒浜保育園の老朽化対策の検討状況は。

答 黒浜保育園は、昭和51年に竣工し52年の開園以来、約49年間にわたり地域の子育て支援サービスを提供してきました。長年の使用に伴い施設の各所に老朽化がみられますが、不具合が発生した場合に必要な対応を行っています。

問 黒浜保育園に隣接する道路（市道1364号線）を改良する考えは。

答 近隣住民が利用している生活道路については、要望書の提出がないため現在のところ改良する予定はありません。※ほかに、公共施設の使用料について質問。



黒浜保育園

スマホを使った映像通報システム導入に向けて



高橋 健一郎
(公明党)



問 スマホを使った映像通報システムとは。

答 映像通報システムは、スマホで119番通報をすると状況に応じて、通報者のスマホに消防からショートメッセージ

でURLアドレスが送られ、それをクリックすることで映像共有できるシステムです。言葉では伝えきれない情報を、映像により迅速かつ的確に得ることが可能です。

問 蓮田市の導入予定と導入効果を伺う。

答 現在消防指令システムの更新を進めているところで、今年の12月ごろから市民の皆様にご利用いただける予定です。1分1秒を争う救命救急にとって重要なツールの一つとなります。

埋蔵文化財について

問 市民への周知と情報発信の方法を伺う。

答 埋蔵文化財は、我が国の歴史を知る上でたいへん重要なもので、一度壊してしまうと元に戻すことのできない国民的財産であり、文化財情報サイトにて紹介しています。

問 貴重な文化財があり知る人ぞ知る存在になっている状況で、市民にもっと見える形で活用してはどうか。

答 確実な保存と観光や地域活性化に向けた活用のバランスを十分に考慮する必要があります。



上下水道事業について



諸根 善昭
(日本共産党)



問 上下水道事業審議会答申において下水道使用料を平均36%、20㎡の使用で50%も値上げすることを求める理由は何か。

答 流域下水道維持管理負担金の単価改定、使用量単価の適正化、費用負担の適正化、施設の維持管理・更新に備えた資金の確保の4つの課題に対応するためです。

問 答申で「なくすべき」と求められている基準外繰入金金の額は。

答 令和4年度が2億1200万円、令和5年度が2億4800万円、令和6年度が2億1700万円です。

問 基準外繰入金は一般会計の1%にも満たない。市長に問う。基準外繰入金をなくすことにこだわらず、物価高騰のもとで下水道使用料の値上げは見送るべきではないか。

答 料金は、法律に従って適正な原価を基礎として健全な運営を確保するという縛りがあります。条例案は9月議会に提案する予定です。

市民の足の確保に向けて本格的な取組を

問 蓮田市の運転免許証返納者の実態は。

答 令和5年が201人、令和6年が222人、令和7年が232人です。

問 高齢化の進行で現在のバス路線網だけでは対応できない。既存のバス路線

と競合していない地域で、バス事業者と協力してワゴン車をデマンド方式で試験運行してはどうか。

答 路線バスと競合しない地域での試験運行という提案については、バス事業者にも実態を話し、よい方策はないか相談していきます。

土のうステーションについて



山田 孝夫
(公明党)



問 土のうの備蓄場所と備蓄数は。

答 市役所敷地内の車庫で備蓄していて、現在、備蓄数は約300袋です。

問 土のうステーションを設置する考えは。

答 設置することで、住民による速やかな土のう設置や、職員による土のうを運搬する労力の削減につながると考えています。今後検討します。

犬のふん害対策について

問 イエローチョーク作戦の効果に対する認識は。

答 イエローチョークでふんを囲み、日時等を書くことで「地域の目がある」ことを視覚的に強調し、飼い主のモラルに直接訴えかけることが可能となると認識しています。

問 イエローチョーク作戦を導入する考えは。

答 マナー向上の取組として、市ホームページでのイエローチョーク作戦の周知、イエローチョークの無料配布について検討します。

図書館について

問 電子図書館の検討状況は。

答 先行事例を参考に効果的な導入の在り方を検討していきます。

問 公衆無線LANの導入検討状況は。

答 市内の公共施設全体にかかわる課題であり、関係部局と連携しながら検討していきます。

問 図書除菌機の導入検討状況は。

答 導入している自治体の使用状況なども参考にしながら、研究していきます。



蓮田市図書館

議会の傍聴ができます

市議会の本会議は、一般に公開されていて、傍聴することができます。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

●傍聴心得について

傍聴に関しては受付で配布している傍聴人心得の記載事項をお守りください。

●車いすでの傍聴ができます

市議会の会場には、車いす用の傍聴スペースが用意してあります。



●手話通訳者について

議会を傍聴する際に、手話通訳者を希望されるかは、事前に議会事務局までご連絡ください。



問 視覚障がい者へのサービス（サピエ）への加盟は。

答 サピエは点字データや録音図書データを、インターネットを通じて提供する全国的なネットワークで、参加に向けて検討していきます。

問 デジタル図書館カードの概要と導入についての考えは。

答 スマートフォンの画面に図書館カードのバーコードを表示するもので、カードの紛失防止など、市民の利便性向上が期待され、導入に向けた検討を進めています。

障がい児通所給付費支給申請と手続きについて



秦 邦雄
(市民クラブ未来)



問 発達の遅れがある子どもの親から相談を受けた。障害児通所給付費支給の更新申請をしたところ、祖父母と同一生計とみなされ、負担上限月額が従来の約8倍との通知を受けた。祖父母と2世帯同居ではあるが、実際生計は別である。「世帯調書」の記入例に従い記入して提出したら同一生計とみなされたとのこと。この記入例が不適切であったのではないのか。

答 今後、文言の修正を含め検討します。

問 市における生計が同一の判断基準は何か。

答 「日常生活を営む上で生活費等を共通にしている状態」としています。

問 その後、その親は「申立書」を出すなどして市に生計が同一でないと認められ、負担限度月額がこれまでと同額との再度の交付決定を受けた。その結果、同番号・同日付の2通の公文書（交付決定通知書）が申請者宅に現存している。公文書として問題では。

答 1通目を回収することが望ましく、申請者の誤解を招くことのないよう適切な対応が必要であったと考えます。

災害における共助について

問 自主防災組織の現状は。

答 今年度、新たに3団体・6自治会が設立され、現在は46団体・54自治会です。

問 自主防災活動に触れる機会の少ない市民（自治会非加入世帯や自主防災組織を持たない自治会員）は、全市民の約7割にもなる。これらの市民のかたがたに対し、共助に関するコンテンツを市ホームページに掲載し周知することが重要では。



答 防災に関する啓発は、広報紙によるものを中心としていましたが、今後はホームページによる啓発の手法なども検討したいと考えます。

商工振興に関して



山田 慎太郎
(無会派)



問 中小企業・小規模企業振興基本条例の検討は。

答 中小企業・小規模企業への支援を体系的かつ継続的に進めるために条例を制定することは、企業活動の後押しと地域社会を支える基盤づくりに資するものと考えています。現在、この条例の制定に向けて調整を進めています。

問 今後の取組は。

答 商工振興に関する施策は、地域経済や雇用の安定を図るだけでなく、地域の発展を支える重要な取組であり、商業者の活性化につながるものであると考えます。市内商工業が時代の変化や課題に対応しながら持続的に発展できるよう、施策の継続的な推進に努め、地域経済のさらなる活性化に取組んでいきます。

空き家対策に関して

問 蓮田市では株式会社ジチタイアドとの協定を結んでいるが、蓮田市内でも市内業者が業種を越えてコンソーシアムを組んで解決に向けて動こうとしている。この



のような市内団体を市がサポートする考えは。

※コンソーシアムとは、共通の目的を達成するために複数の企業や団体、研究機関などが協力して作る共同事業体や連合のこと。

答 民間事業者が空き家対策について、垣根を越えた取組を実施しようとしているとのこと、非常にありがたく感じています。市としては、限られた条件の中でできる限りの対応を行っていきたいと考えていますので、今後とも情報提供をお願いします。

問 本市でも一歩踏み込んで、調整区域内的の空き家利活用に向け、部局横断で「規制緩和」につながるような取組を進める考えはあるか。

問 市街化調整区域内の既存建築物の利活用については、現行の開発許可基準を踏まえ、関係部門と調整して、今後の空き家対策に向けて、どのような対応ができるか、近隣自治体の事例等を参考にしつつ、調査研究していきたいと考えています。

蓮田駅西口通線の開通に向けて



菊池 義人
(市民クラブ未来)



問 現在の進捗状況は。

答 県道さいたま栗橋線からの約440mについては、令和2年11月に事業認可を取得し、令和8年3月末現在の用地取得率は、面積換算で全体の約32%です。

問 完成目標年度は。

答 現在の事業認可の期間は令和9年3月までとなっていますが、それまでに事業を完了させることは難しい状況のため、今年度中に事業認可の期間を5年間延長する予定です。

問 地権者との交渉は何件まとまり、残りは何件か。

答 用地取得に協力いただいた権利者は令和7年度末までで8名です。全体で地権者は38名のため、今後交渉する地権者は30名です。

問 まだ交渉に入っていない地権者はいるか。

答 交渉を始めていない地権者はいます。

問 県道さいたま栗橋線との交差点部分の協議はどうなっているか。

答 直近では、令和5年度から6年度にかけて信号制御を中心とした交通協議を行いました。

問 警察との協議における課題は。

答 県警本部から「事業期間が長期に渡るため、供用開始時期が見えた時点で交通実態に基づく交通処理を検討し、再度協議する必要がある。」との意見をいただいています。今後、事業の進捗に合わせて、県警本部との協議を再開する予定です。※ほかに、小学校・中学校のトイレ改修及びエアコンの設置についてと地下鉄7号線の延伸について質問。

ごみ処理行政について



関根 香織
(はすだ政和会)



問 北本市では、ごみ袋として使える指定レジ袋を導入していて、以前から蓮田白岡衛生組合において導入することを提案している。検討状況はいかがか。

答 今後、蓮田白岡衛生組合の廃棄物減量等推進審議会からの答申内容を踏まえ、検討が進められます。

問 ごみ袋の価格の見直しについては、埼玉県内で一番高いことを踏まえ、社会情勢や市民のごみ排出量の実績に応じ、

価格の見直しを検討することを令和元年から提案している。その後、価格の見直しについての検討状況は。

答 ごみ袋の価格や規格の見直しについては、廃棄物減量等推進審議会において、社会情勢やごみ処理を取り巻く状況を踏まえながら検討が行われています。

問 市民生活を支えるための支援策として、ごみの減量化が難しい世帯（高齢者・障がい者・乳児などの紙おむつのごみが多く出る世帯）に対する支援策を検討しているかがか。

また、国の交付金を活用した生活支援策として、経費や事務負担を最小限に抑えながら、その分を市民に還元することができるとして、指定ごみ袋の無料引換券を広報紙といっしょに配布する施策を検討しているかがか。

答 地方創生臨時交付金を活用した施策は、市の全体の施策の中で考えていく必要があると考えています。ごみ袋の配布については、その施策の1つであると認識しています。※ほかに、学校トイレの洋式化・乾式化について質問。



蓮田駅周辺の利便性向上にぎわい創出を



榎本 菜保
(日本共産党)



問 蓮田駅東口の東武ストア蓮田マイン店が、今年9月で閉店と発表された。買い物環境、駅への通行路、銀行ATM、駐車場等、大きな影響があり、市民の不安の声も大きい。いち早く相手方への働きかけを行ってほしいかがか。

答 個々の企業や個人の判断であり、市の直接的な指導は難しいですが、スパーを残してほしいとの願いは前からしています。通行路確保は、新たな建築主と駅前団地との協議事項ですが、建築主からの相談時には意見・要望を伝え、調整しながら対応します。

子どもと保護者の安心を支える伴走型の不登校支援を

問 新たに導入予定の不登校支援事業の概要と展望は。

答 令和8年度から、学校を核としたプロジェクトチームを編成し、新たにスクールハートスタッフによる家庭訪問支援を始めます。

問 各相談窓口で、オンラインでの相談もできるようにしてはいかがか。

答 児童生徒や保護者の状況などを丁寧にとらえ、個別の対応方法を検討していきます。

問 蓮田市教育センター適応指導教室（エコー）を中学校区単位に1つ置く



教育センター「適応指導教室エコ」(黒浜北小学校敷地内)

ことは。

答 現在、利用する児童生徒の支援は適切に進められていて、現時点で各中学校区への配置の予定はありません。

問 スクールカウンセラーへの相談需要が増えている。心理専門職の配置による相談対応を増やしては。

答 学校が中心となって関係各所とつなげ、適切な相談対応ができていて、現時点で心理専門職を置く予定はありません。

問 フリースクール等、通学に対する補助金支給を行っている。

答 心理的な支援の重要性は十分認識しています。ご意見を踏まえ、他市の状況や県の動向を注視し研究していきます。

山口市長の公約について



湯谷 百合子
(無会派)



問 公約「先を見据えたまちづくり」のうち、地下鉄7号線の延伸誘致を早期実現させるために必要なことは。

答 事業費の確保、街づくりとの一体整備、定住人口・関係人口の増加策等建設のための事業性・採算性の確保などが挙げられます。

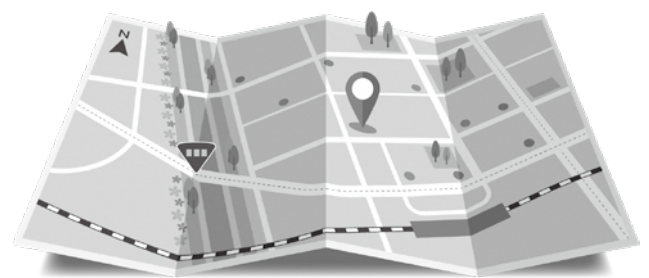
問 さいたま市の浦和美園から岩槻までの地下鉄延伸計画の総事業費1440億円のうち、さいたま市負担分は312億円。また、中間駅周辺のまちづくり経費は、市単独700億円とされている。蓮田市は厳しい財政運営だが、地下鉄のための財源準備について、市長の考えは。

答 まだ何も決まっています。まず岩槻までのさいたま市の取組をじっくり見ながら進めていきます。

問 公約の「賑わいあふれるまち」とはどのようなものを想定しているのか、市長に伺う。

答 人がおおい集まって回遊することと考えます。

問 パルシー・ハストピアで賑わいあふれるまちをつくるための市長が考える具体策は。



答 よい事業を計画し、市内外から人を呼び込むイベントや大会を実施します。

問 パルシー・ハストピアの周辺は、トラックヤードや廃土置き場・市民農園でとても他市からのお客さんを迎えるにふさわしい環境ではない。周辺整備はやらなということか、市長に伺う。

答 予定はしていません。

問 駅周辺の賑わいの具体策は。

答 「まちなかウォークアブル事業」で歩道・トイレ等を整備し、プレックス蓮田で日曜日に蓮田産の野菜の販売を始めました。

問 サービスエリアを活用した「賑わいあふれるまちをつくる」の具体策は。



答 ネクスコ等との協定に基づき、イベントを行っていきます。
※ほかに、第6次総合振興計画における市民意識調査の反映について質問。

保育施設における保護者と保育士の負担軽減について



鈴木 貴美子
(公明党)



問 おむつのサブスク(定額使い放題サービス)やコットベッド(お昼寝用簡易ベッド)の導入で、保護者や保育士の負担軽減を図るのはいかがか。

答 施設ごとに園舎の状況や保管スペースに差があり、全園一律での導入については、現時点で予定はしていません。

HPVワクチンについて

問 HPV(ヒトパピローマウイルス)ワクチンは、子宮頸がんの予防が可能なワクチンであり、小学校6年生から高校1年生が公費接種の対象だが、15歳の誕生

日までに接種を開始した場合、通常3回接種のところ2回接種で完了できる。接種の痛みや通院の手間を減らし、市の費用負担軽減のために、中学2年生への個別通知を行うのはいかがか。

問 接種率の向上と費用負担軽減を図るため、2回の接種で完了できる中学2年生の対象者へ、個別通知を実施する方向で今後検討します。

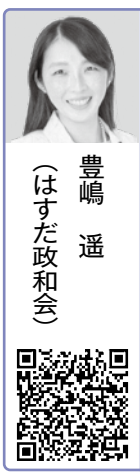
妊産婦や乳幼児の避難所整備について

問 個々の状況に応じた支援を提供しやすい「母子専用避難所」を設ける意義は大きい。日頃から母子が使用している施設を活用した避難所開設についての考えは。

答 日頃から母子が使用している児童センターや子育てサポートコーナーのプレックスキッズは、遊具やおむつ交換台があり、母子や乳幼児が避難する場所に適しています。一時的に避難所として扱うことも選択肢の一つになると考えます。

※ほかに、高齢者肺炎球菌ワクチンについて質問。

蓮田サービスエリアへの高速バス停留所設置について



問 停留所設置により期待される効果は。

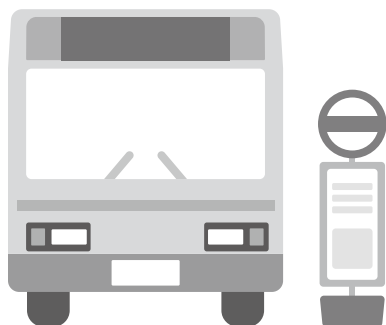
答 上りSA（サービスエリア）は、一般道からSAへの出入りが可能となっていて、SAとJR蓮田駅の間で無料シャトルバスの運行もされていることから、高速バスを利用する方にとって、SAで途中下車できることは、利用者の利便性向上につながり、蓮田駅の利用者が増加した場合には、蓮田駅周辺の賑わい創出につながる可能性もあると考えています。

問 バス事業者からの問合せ状況は。

答 蓮田SA（上り）に降車専用のバス停留所が設置できないかという問合せと設置に向けて協力の要望が、令和4年12月にありました。

問 上り線への降車及び下り線からの乗車を可能とする高速バス停留所設置の可能性は。

答 上り線への降車専用のバス停留所の設置は、バス事業者からの要請に応じる形で、NEXC O東日本、埼玉県をはじめとする関係機関との調整や協議などを進めていきたいと考えています。一方、下り線への乗車専用のバス停留所は一般道からの出入りが出来ないことやSAが狭いこと



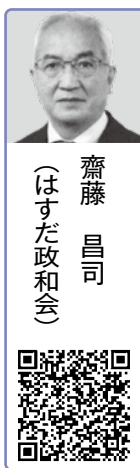
とから現状では難しいのではないかと考えます。

問 設置に向けて市ができる支援や対応は何か。

答 現在、蓮田市に要望を行ったバス事業者も、降車場の設置について検討をしていると伺っています。市では、関係機関との協議を進めるに当たり、円滑に協議が進められるよう、橋渡し役としての支援やSAの地元自治体としても関係機関との協議に参加して、設置ができるような提案をしていきたいと考えています。

※ほかに、再配達削減の推進について質問。

蓮田北小学校に係る諸課題について



問 通学路の拡幅要望については。

答 市道633号線及び628号線については、現在進行中の工事が完成しただい検討を進めます。

問 体育館東側の道路は学校敷地であるが、道路として認定すべきではないか。

答 今後の在り方については、道路課と教育委員会で協議し検討を進めます。

問 蓮田北小学校校庭内に細長い国有地が存在し賃貸借契約されているが、払下げ等の交渉はできないか。

答 契約年数も30年と長期にわたりますので、財政面の検討を重ね、買取の方

蓮田市議会 議会中継について

■議会中継について

本会議は、インターネットによるライブ中継及び録画映像の視聴ができます。



議会中継アドレス https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hasuda/WebView/rd/council_1.html



蓮田北小学校体育館東側

- 問** 体育館は、避難所でもあり、トイレを改修することはできないか。
- 答** 必要に応じ修繕を行い、維持管理に努めます。
- 問** 改修が難しいのであれば、ウォッシュレットを導入することはできないか。
- 答** 工事可能であるか調査し、ウォッシュレットへの切り替えを前向きに検討します。
- 小・中学校体育館のLED化と空調整備について**

問 小・中学校の体育館LED化の進捗状況は。

答 現在8校が完了し、残る5校を今年度中に交換します。

問 体育館への空調導入スケジュールについては。

答 中学校は、部材等の遅れはありますが、今年度中に工事完了予定です。

問 小学校への空調導入については、中学校への導入状況を見て進めるとのことだが、遅れる心配はないか。

答 本年度中に十分な検証及び検討を行い、その結果を反映していきます。

憲法9条の立場にたった平和行 政・平和教育について



深田 康孝
(日本共産党)



問 市は平和憲法の理念に立つまちづくりを続けてきた。国際情勢が変化しても、この立場を今後も堅持するよう市長に求める。

答 全会一致で議決した「蓮田市平和都市宣言」を基本理念とし、平和意識の醸成と次世代への継承に努めています。平和で安全な地域社会の実現に取り組みます。

問 義務教育で、憲法や立憲主義、9条の成り立ちは、どのように教えられているのか。

答 小・中学校の社会科で、国民主権や平和主義などを学びます。憲法9条は、過去の戦争の経験から戦争放棄・戦力不保持を決意したことを、史料を用い、制定の背景や改正論議と併せて学習しています。

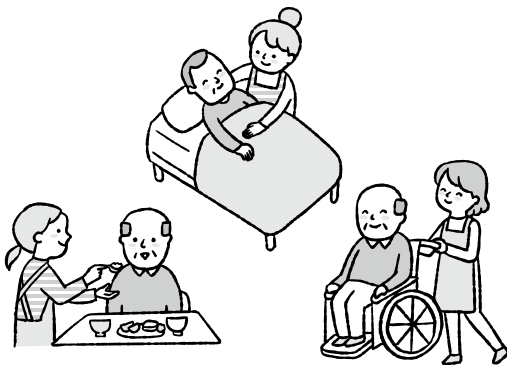
問 教育を通じ、子どもが尊厳を持って育ち学べる地域づくりを平和行政の一環として発展的に位置づけるよう求める。

答 各校で戦争の悲惨さや命の大切さを学ぶことで、平和を守る主体的な態度を養ってきました。まちへの愛着と共生社会の実現に向け、学校と地域が連携していきます。

介護保険制度改定と保険者としての 蓮田市の取組について

問 介護職員の離職理由に「家族の介護」が多く上がるなど、職員が親の介護で離職せざるを得ない実態が判明した。第10期介護保険事業計画に市民の声を反映し、改善と国への働きかけを市長に求める。

答 本市では、介護の担い手確保と働きやすい現場づくりが重要であると考えています。第10期計画では担い手・働き手の視点で策定を進め、国へは県の市長会を通じて実情を訴えています。



公共施設の予約方法と今後の在り方について



近藤 純枝
(はすだ政和会)



問 公共施設利用者登録を施設ごとに申請するのではなく、1箇所かつ1回の申請で登録できる仕組みに変更できないか。

答 利用目的によって利用できるか内容が異なるため、現段階では施設ごとに内容を確認し利用者登録をお願いしています。

問 利用料のキャッシュレス化の取組は。

答 令和7年度から中央公民館でキャッシュレス決済の実証実験を行っています。決済の方法は、クレジットカード、交通系ICなどの電子マネー等で、利用割合は約1%となっています。利用者は、特定の団体にとどまっています。次期予約システム導入において、利便性向上に努めたいと考えています。

投票率向上の取組について

問 近年、投票率が低下しているが、投票率向上に向けた取組は。

答 広報はすだ、市のホームページへの情報掲載に加え、蓮田市公式LINE、蓮田市マスコットキャラクター「はすぴい」公式Xを活用するなど、プッシュ通知も活用して情報発信に努めています。

問 選挙公報を新聞折込みではなく、事業者等による全戸配布にできないか。

